

経営比較分析表（令和5年度決算）

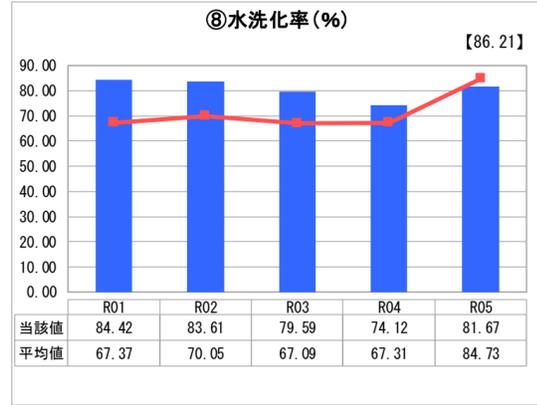
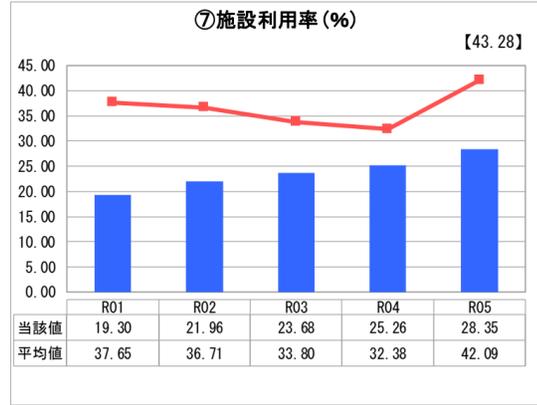
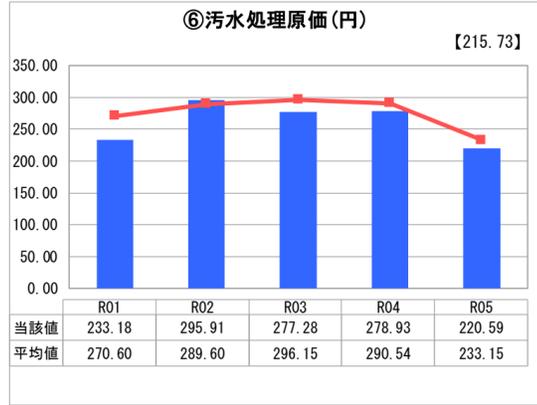
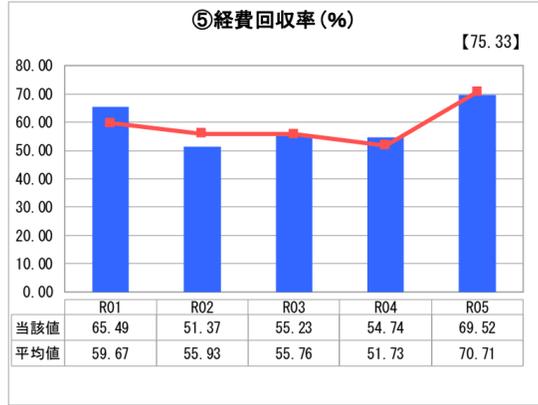
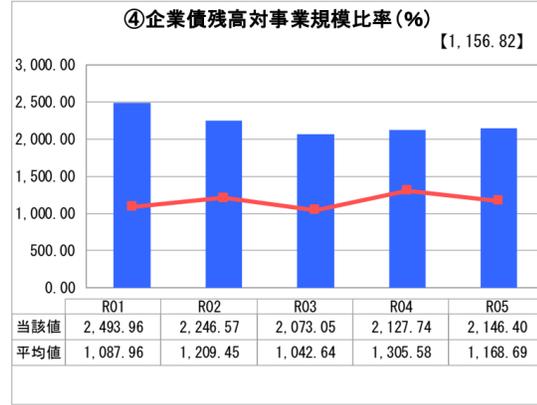
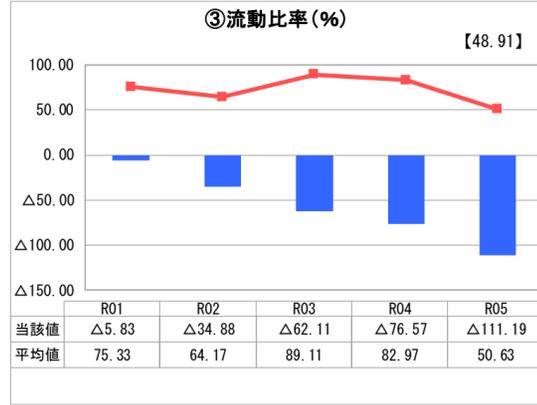
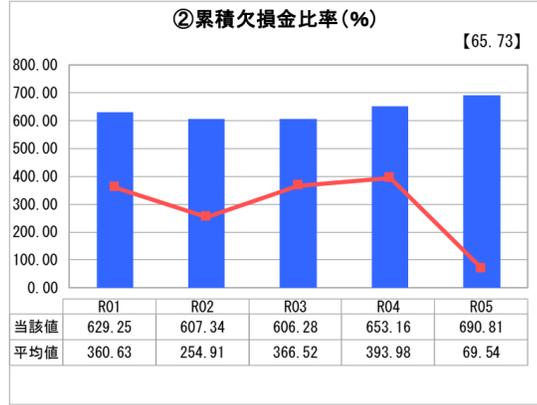
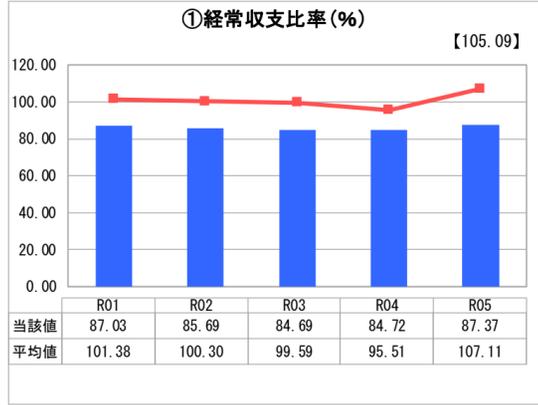
山口県 山口市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	41.10	1.77	92.53	3,080

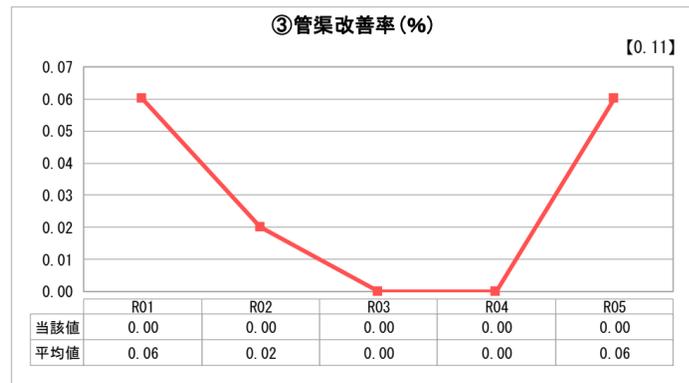
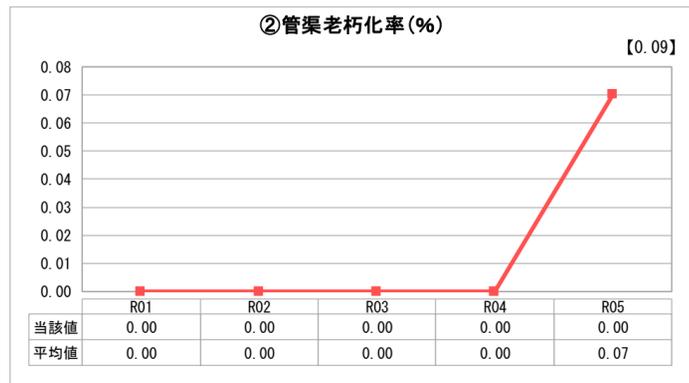
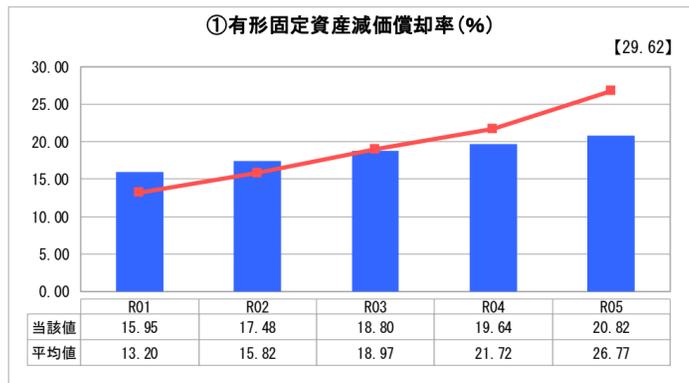
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
187,494	1,023.23	183.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,290	1.07	3,074.77

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②経常収支比率は赤字で推移し、累積欠損金は類似団体平均値より高く推移している。
 ③流動比率は一般的に望ましいといわれる100%を下回っており、短期的な債務に対する支払能力が不足している状態である。
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値より高く、類似団体よりも企業債残高の規模が大きくなっている。
 ⑤経費回収率は100%を下回っており、下水道使用料で回収すべき経費が下水道使用料収入で賄えていない。
 ⑥汚水処理原価は類似団体平均値より低くなっている。
 ⑦施設利用率は類似団体平均値より低くなっているが、未普及地域の整備途中であり、処理場に先行投資していることが原因と考えている。
 ⑧水洗化率は類似団体平均値より高くなっており、類似団体よりも下水道への接続が進んでいる。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値より低くなっている。当該事業は平成15年に着手、平成21年に供用開始された事業であり、施設の老朽化は進んでいない状態にある。
 ②③管渠老朽化率及び管渠改善率は、耐用年数を経過した管渠がないため当該値が0となっている。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業は公共下水道事業と同一の会計で、一体的に経営を行っており、経営戦略の取り組みを着実に推進し、経営基盤の強化に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。